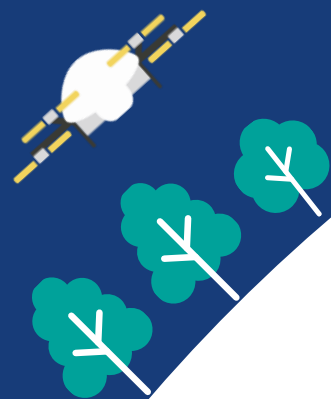
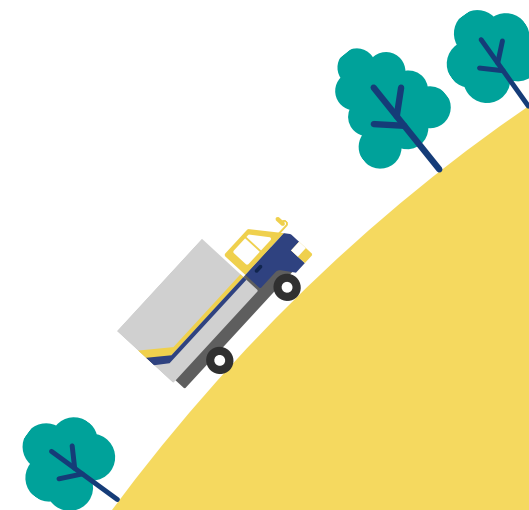




2024.12.13

ITSシンポジウム資料

セイノーホールディングス株式会社



自己紹介



河合 秀治

セイノーホールディングス株式会社
執行役員 ラストワンマイル推進チーム担当
オープンイノベーション推進室室長

セイノーラストワンマイル株式会社
代表取締役社長

- ・ 1997年、当社入社
- ・ 単独ドライバー乗務研修を経て、大阪店所で現場営業後、本社各プロジェクトに従事
- ・ 2011年、社内ベンチャーとしてココネット株式会社を設立、後に社長に就任
- ・ 2016年、オープンイノベーション推進室を発足、室長に就任
- ・ 2018年、ラストワンマイル推進チームを発足、2021年から現職
- ・ 2024年、セイノーラストワンマイル株式会社代表取締役社長に就任
- ・ 現在、同社傘下のココネット、リビングプロシード、LOCCO、地区宅便、ちくぽす、日祐の6社の代表取締役を兼務すると共に、セイノーHD執行役員ラストワンマイル推進チーム担当、オープンイノベーション推進室長、CVC「Value Chain Innovation Fund」、事業承継ファンド「日本物流ファンド」を管掌し、グループ全体の新しい価値創造とイントレプレナー育成に取り組んでいる。

会社紹介



01 創業

1930年

日本の物流を
支えてきた歴史

02 企業間物流

No.1

車両台数
約26,000台

03 輸送拠点

736拠点

日本の企業間物流を支える
物流インフラ

04 輸送グループ社員数

26,532名

日本の物流を
支える人的資産

05 顧客資産

86万社

これまでに築いてきた
顧客基盤

06 株主還元

DOE 1.2% → 4.0%
2022.3期 2024.3期

安定的で高い株主還元
へ変更

07 自己資本比率

63.2%

08 CVC投資件数

21社

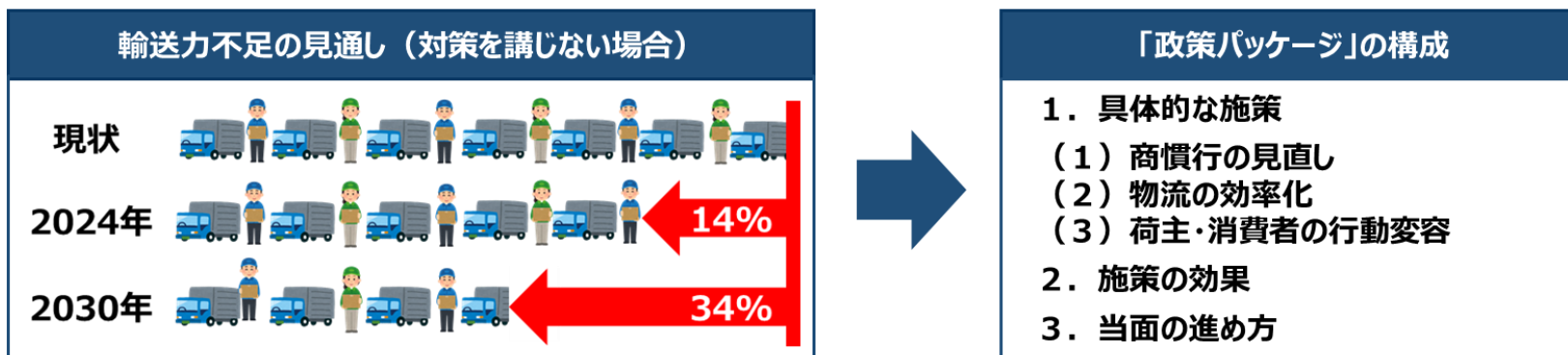
テクノロジーに
強いスタートアップとの共創

物流業界の課題



「物流革新に向けた政策パッケージ」のポイント

- 物流は国民生活や経済を支える**社会インフラ**であるが、担い手不足、カーボンニュートラルへの対応など様々な課題。
- さらに、物流産業を魅力ある職場とするため、トラックドライバーの働き方改革に関する法律が2024年4月から適用される一方、物流の停滞が懸念される**「2024年問題」**に直面。



荷主企業、物流事業者（運送・倉庫等）、一般消費者が協力して我が国の物流を支えるための環境整備に向けて、抜本的・総合的な対策を「政策パッケージ」として策定。

中長期的に継続して取り組むための枠組みを、次期通常国会での法制化も含め確実に整備。



1. 具体的な施策 (2) 物流の効率化

● 物流GX・DX・標準化等により、新技術も活用しつつハード・ソフト両面で物流を効率化する。

① 即効性のある**設備投資**の促進
(パス予約システム、フォークリフト導入、自動化・機械化等)

② 「**物流GX**」の推進
(鉄道・内航海運の輸送力増強等によるモーダルシフト、
車両・船舶・物流施設・港湾等の脱炭素化等)

③ 「**物流DX**」の推進
(自動運転、ドローン物流、自動配送ロボット、港湾AIターミナル、
サイバーポート、フィジカルインターネット等)

④ 「**物流標準化**」の推進 (パレットやコンテナの規格統一化等)

⑤ 道路・港湾等の**物流拠点**に係る機能強化・土地利用最適化や物流ネットワークの形成支援

⑥ 高速道路のトラック**速度規制 (80km/h)** の引上げ
⑦ 労働生産性向上に向けた利用しやすい**高速道路料金**の実現

⑧ **特殊車両通行制度**に関する見直し・利便性向上

⑨ **ダブル連結トラック**の導入促進

⑩ 貨物集配中の車両に係る**駐車規制**の見直し

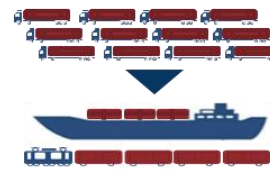
⑪ 地域物流等における**共同輸配送**の促進

⑫ **軽トラック事業**の適正運営や輸送の安全確保に向けた荷主・元請事業者等を通じた取組強化

⑬ 女性や若者等の**多様な人材**の活用・育成

「物流GX」の例

モーダルシフト



EVトラック



太陽光発電



「物流DX」の例

求貨・求車システム



自動運転



自動フォークリフト



物流GX・DX



今後の流れ

長距離輸送が難しく、中継輸送のニーズが増えていくことが想定される

当社の取組みと
今後の課題

- 中継センターとして当社グループの物流インフラの開放と、ハコベルのデジタル技術で事業者同士をつなぐ
- 業者間の精算も可能とするなど利便性の確保が課題



セイノーの物流インフラ

輸送拠点：736拠点



ハコベル

デジタルプラットフォーム

登録事業者数：13,000社

登録車両数：38,000台

ハコベル株式会社 ～物流の「次」を発明する～

2022.8 JV設立

株主構成 50.1%：セイノーホールディングス株式会社
49.9%：ラクスル株式会社

事業内容

- 物流のDXプラットフォーム「ハコベル」の運営サービス
- ハコベルカーゴ 求貨求車マッチングサービス
- ハコベル配車管理 ワンストップで配車業務をDX化
- ハコベルサポータープログラム
運送事業者の経営環境をトータルサポートするサービス

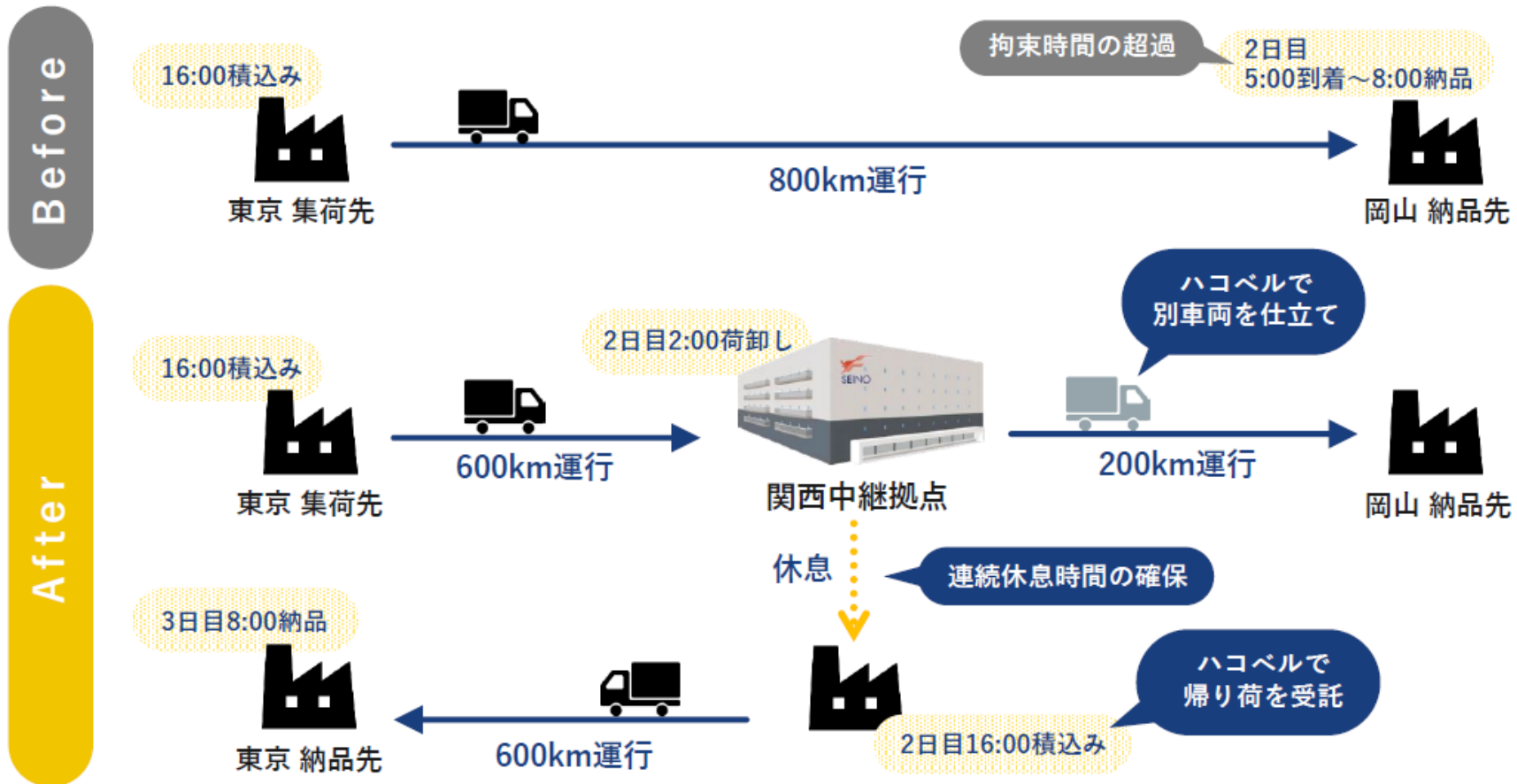
物流GX・DX



当社の物流インフラ・デジタルインフラを開放し、拘束時間の短縮・連続休息時間の確保の実現へ

トラックドライバーの一日の流れの変化

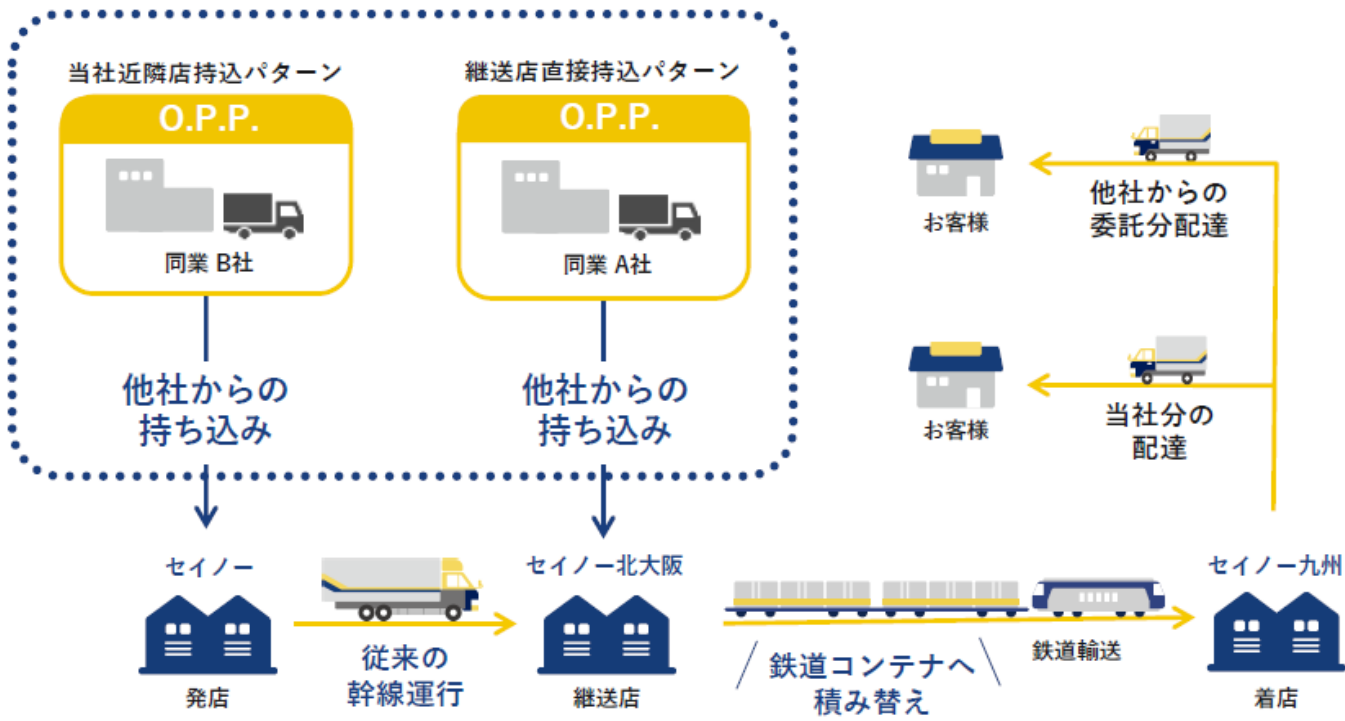
(東京から岡山までの輸送を受託した場合)



物流GX・DX



2024年問題への対応策を同業他社にも提供し、Green物流の実現へ仲間を集めていく



北大阪ハブ店について

- 九州向けの継送専門店を2023年10月より稼働。
- 専門店化により輸送力の強化、運行便の効率化、そして同業他社や区域業社からの商品の受け入れによりGreenを実現。

参考：キャパシティ700トン/日

オープン・パブリック・プラットフォーム (O.P.P.)

社内外、業種の違い等を問わず連携した（オープン）、誰もが使える（パブリック）、物流プラットフォームを構築し、プラットフォーム利用者それぞれの効率化や価値向上、さらには社会インフラとして産業・環境・生活への貢献を実現する構想。

共同配送



1. 具体的な施策 (2) 物流の効率化

- 物流GX・DX・標準化等により、新技術も活用しつつハード・ソフト両面で物流を効率化する。

- ① 即効性のある**設備投資**の促進
(バス予約システム、フォークリフト導入、自動化・機械化等)
- ② 「**物流GX**」の推進
(鉄道・内航海運の輸送力増強等によるモーダルシフト、
車両・船舶・物流施設・港湾等の脱炭素化等)
- ③ 「**物流DX**」の推進
(自動運転、ドローン物流、自動配送ロボット、港湾AIターミナル、
サイバーポート、フィジカルインターネット等)
- ④ 「**物流標準化**」の推進 (パレットやコンテナの規格統一化等)
- ⑤ 道路・港湾等の**物流拠点**に係る機能強化・土地利用
最適化や物流ネットワークの形成支援
- ⑥ 高速道路のトラック**速度規制 (80km/h)** の引上げ
- ⑦ 労働生産性向上に向けた利用しやすい**高速道路料金**
の実現
- ⑧ **特殊車両通行制度**に関する見直し・利便性向上
- ⑨ **ダブル連結トラック**の導入促進
- ⑩ 貨物集配中の車両に係る**駐車規制**の見直し
- ⑪ **地域物流等における共同輸配送**の促進

- ⑫ **軽トラック事業**の適正運営や輸送の安全確保に向けた
荷主・元請事業者等を通じた取組強化
- ⑬ 女性や若者等の**多様な人材**の活用・育成

「物流GX」の例



「物流DX」の例



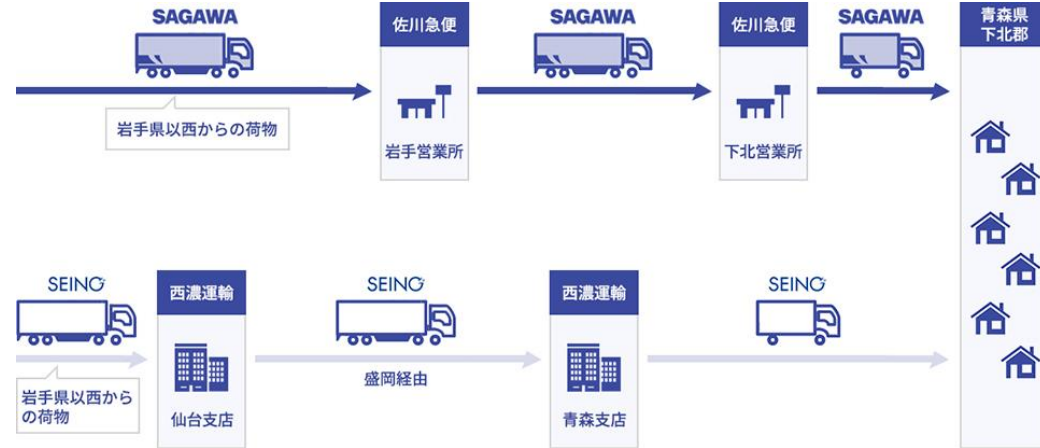
共同配送



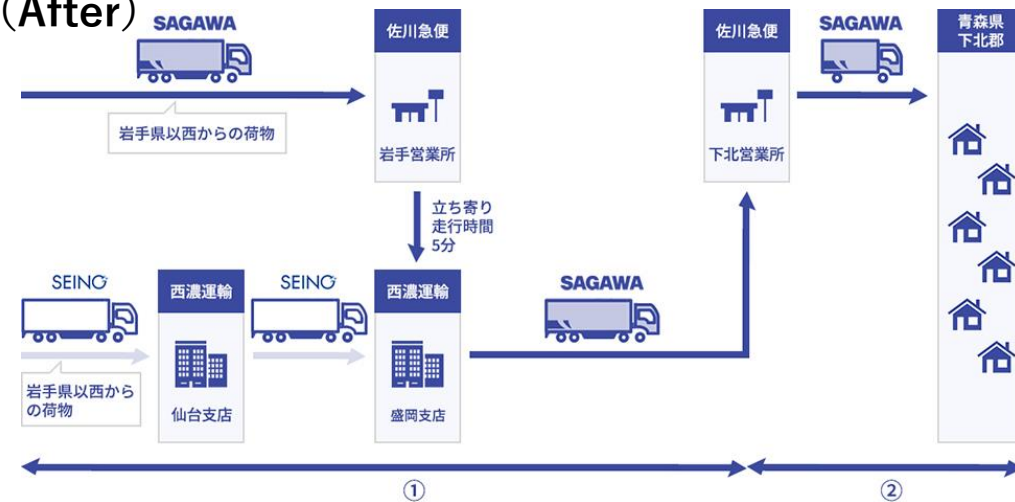
佐川急便と西濃運輸が本州最北端の
青森県下北郡向け荷物の共同輸配送



(Before)



(After)



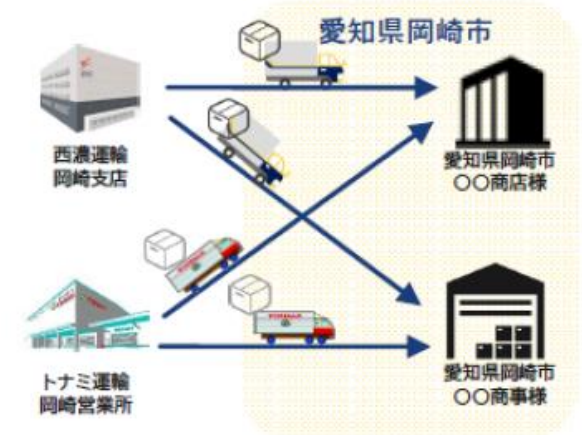
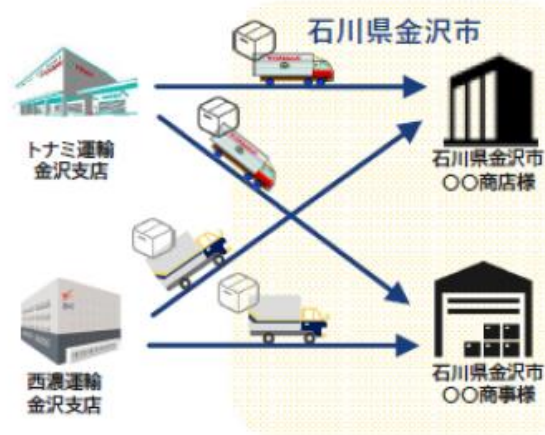
共同配送



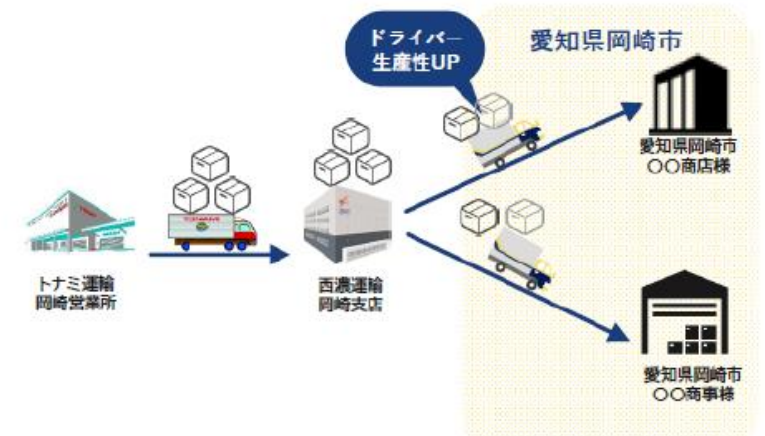
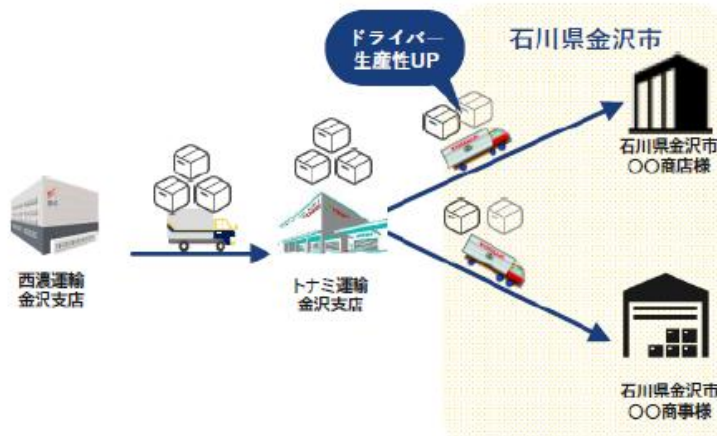
トナミ運輸と西濃運輸が金沢市、
岡崎市で共同配送



～2024年1月31日



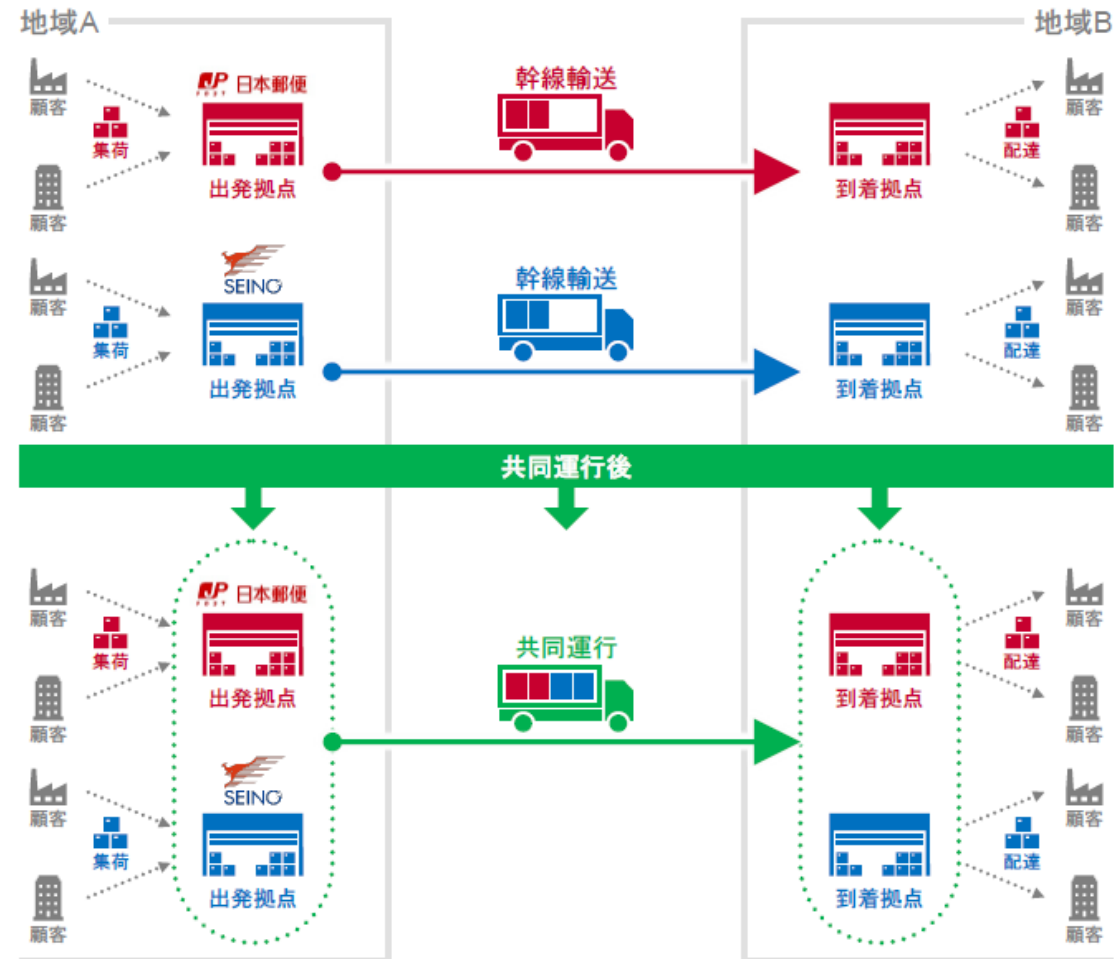
2024年2月1日～



共同配送



日本郵便と西濃運輸が幹線輸送
の共同配送で業務提携



共同配送 過疎関係市町村885（全市町村1,718）



【導入前】『共同配送』フロー

← ラストワンマイル →

市街地・・・10km・・・・・・20km・・・・・・郊外・・・・・・中山間地域

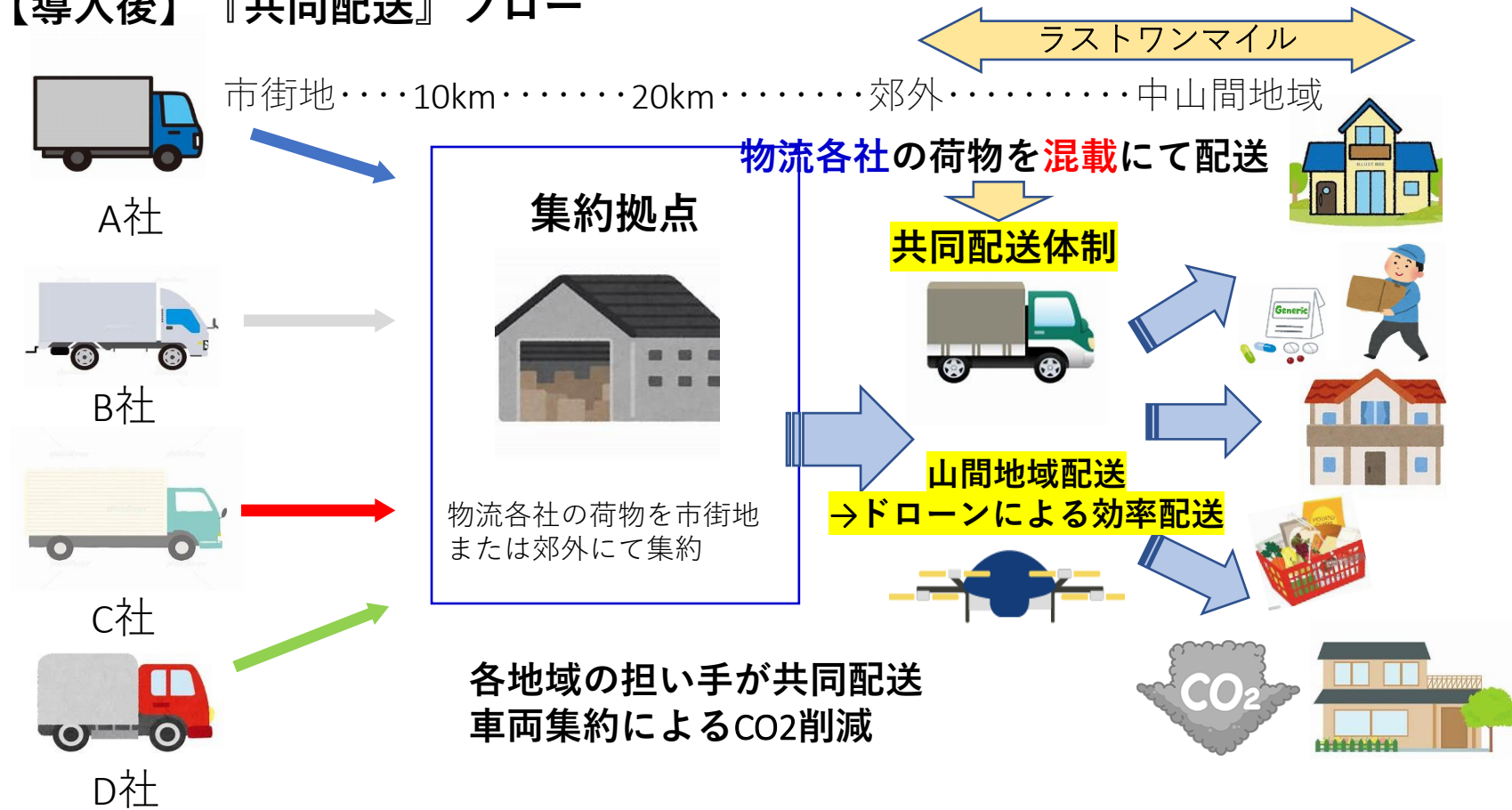


各社がバラバラで配送することで、CO2排出増加、非効率運用、不採算

共同配送 過疎関係市町村885（全市町村1,718）



【導入後】『共同配送』フロー



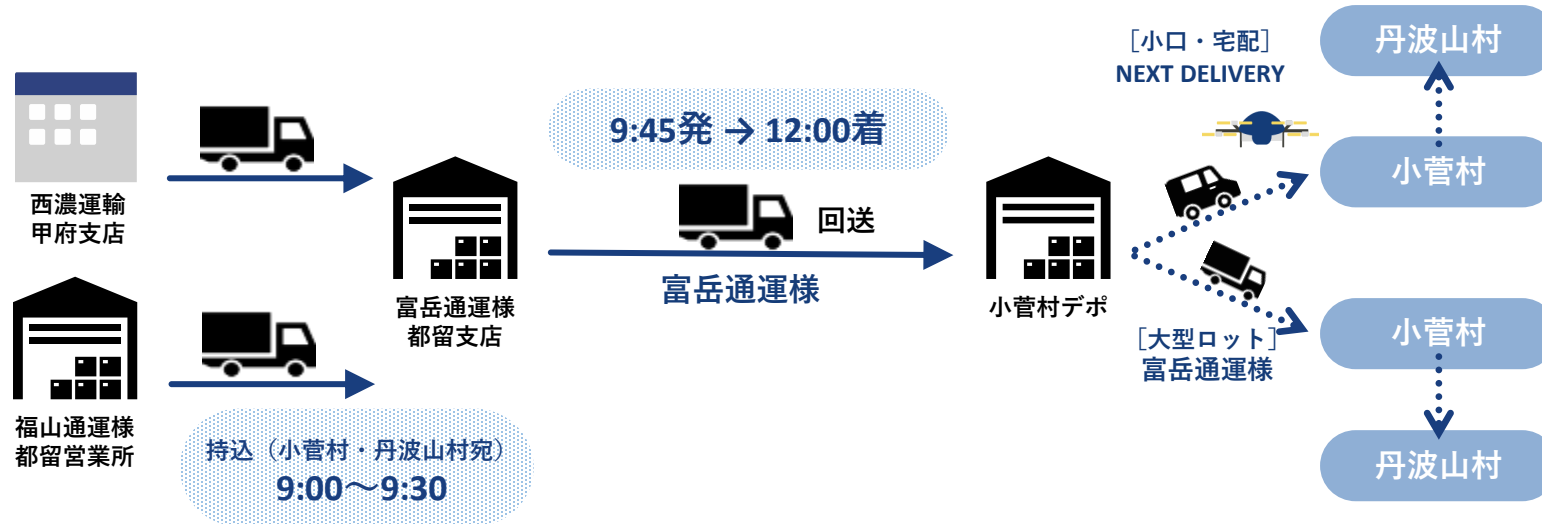
集約拠点を設置、共同配送によりムダを排除、各地域の担い手に共同委託

共同配送 過疎関係市町村885（全市町村1,718）



山梨県小菅村・丹波山村での特積み物流会社の共同配送開始
(2023年8月1日～)

共同配送のフロー



過疎地域物流を持続可能とするリレー共同配送・ドローン配送

多様な人材の活躍



1. 具体的な施策 (2) 物流の効率化

- 物流GX・DX・標準化等により、新技術も活用しつつハード・ソフト両面で物流を効率化する。

- ① 即効性のある**設備投資**の促進
(バス予約システム、フォークリフト導入、自動化・機械化等)
- ② 「**物流GX**」の推進
(鉄道・内航海運の輸送力増強等によるモーダルシフト、
車両・船舶・物流施設・港湾等の脱炭素化等)
- ③ 「**物流DX**」の推進
(自動運転、ドローン物流、自動配送ロボット、港湾AIターミナル、
サイバーポート、フィジカルインターネット等)
- ④ 「**物流標準化**」の推進 (パレットやコンテナの規格統一化等)
- ⑤ 道路・港湾等の**物流拠点**に係る機能強化・土地利用
最適化や物流ネットワークの形成支援
- ⑥ 高速道路のトラック**速度規制 (80km/h)** の引上げ
- ⑦ 労働生産性向上に向けた利用しやすい**高速道路料金**
の実現
- ⑧ **特殊車両通行制度**に関する見直し・利便性向上
- ⑨ **ダブル連結トラック**の導入促進
- ⑩ 貨物集配中の車両に係る**駐車規制**の見直し
- ⑪ 地域物流等における**共同輸配送**の促進

- ⑫ **軽トラック事業**の適正運営や輸送の安全確保に向けた
荷主・元請事業者等を通じた取組強化

- ⑬ 女性や若者等の**多様な人材**の活用・育成

「物流GX」の例



「物流DX」の例



提供するサービス



お客様がご来店の上、お買い物された商品をご自宅の玄関先まで配送

「来店型」

【ご高齢者・お子様連れの方・障害のある方】

特殊事例：

毎月限定日に、ご高齢者の配送料を無料で設定
弊社が臨時受付カウンターを設置・運営



お客様がネットスーパーで注文された商品をご自宅の玄関先まで配送

「ネットスーパー型」

【共働き世帯・子育て世帯】

特殊事例：

パッキングなどバックヤード業務の受託
物流センター内のWMSのご提供



配達時または訪問時にお客様からご注文をお聞きし、商品をご自宅の玄関先まで配送

「御用聞き型」

【地域的・時間的に買い物に不便な世帯・飲食店】

特殊事例：

宅配便配達時に御用聞き
FAXで注文書回収、ipadによるご用聞き



お客様のご自宅付近迄
お店の商品をそのままお届け

「移動販売型」

【共働き世帯・子育て世帯】

特殊事例：

店舗からの商品ピックアップから対応
販売時に御用聞き



お客様が記入された注文書を回収、お買い物された商品をご自宅の玄関先まで配送

「注文書回収型」

【近くに店舗がなく、お買い物に不便な地域の全世帯】

特殊事例：

予め置き場を決めた専用BOXに商品をお届け
お届け時に注文書を回収（商圏40km）





個人事業主

+ 手配会社
+ 管理会社



自社従業員

・採用、教育
・管理



多様な人材の活躍



DSS (デリバリーソリューションサース)

- 完全自動配車機能とルート計算 (本社やセンターでの配車計画業務は不要)



多様な人材の活躍




DSS (デリバリーソリューションサーズ)

詳細情報

梱包番号(箱番号) **20001**


位置修正 **大阪府大阪市淀川区木川東3丁目3-3**

住所メモ 裏口を希望されます。裏口にはインターホンがないので、インターホンだけならして裏口に回ってください

メモ修正 

(軒先時間: 6分)

駐車メモ **タイムズ 満車の場合も多いです。**

位置修正 

メモ修正

ステータス変更
コメント登録

画像確認・編集



正面はパン屋さんです。シャッターがしまったお店の左側から裏手に回り込みます。

撮影 送信 削除

画像確認・編集



細い通路の奥の右側にインターホンあり。

撮影 送信 削除

多様な人材の活躍



置き配サービス「occo」 LOCCO



特徴

- 通販大手のフェリシモとJV設立
- 幹線輸送を“まとめて”“ゆっくり”輸送
- 地域の方々のスキマ時間を活用した配送で、置き配で再配達を削減
- 消費者にTポイントを付与

ポストインサービス「コニポス」



特徴

- **Green**（徒歩、自転車による配達組織） & **スロー**（メール便配送インフラ）物流による配送サービス
- **グループ約1万人のGreen配達員**による小荷物のポストインサービス

人手不足の解消・持続可能な運び方の新たな手段へ



• 共同配送

関西、関東向けの長距離輸送のモーダルシフト、共同配送が進む

• 食品、処方薬配送

ネットスーパー、遠隔服薬指導等により食品、処方薬配送が進む

• ドローン配送

中山間地域、離島を中心にドローン配送が進む

• フェーズフリー型物流設計（災害時対応）

平時からの共同配送、流通在庫からの災害時物資提供など、災害時に備えた物流設計が進む

